

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227  
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781  
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成20年8月(2008年) No.5 1 2

### 10月5日(日曜日)開催 OMC映像フェスティバル 16作品中14作品がハイビジョンで上映

このほど幹事会で今年のOMC映像フェスティバル上映作品のプログラムが決定されました。今年は10分を越す作品が多く、従って時間の関係で16作品に絞られました。時間さえあれば、この作品もあの作品も入れてあげたいなあと思う良い作品もありましたが、残念に思いながらも公平な採点結果であきらめざるを得ませんでした。選に漏れた方は来年をめざして年1本でよいから自信のある「この1本」を目指して制作してください。

#### ■プログラム

◎前半の部：①島田の帯祭(HDV)12分 紙本勝、②明日を目指して(HDV)11分 西村光雄、③随想・あしと水鳥の季節(HDV)10分 上総修一郎、④五所川原立佞武多(HDV)12分 河合源七郎、⑤今様猫事情(HDV)8分 安居利次、⑥阿波木偶箱廻し(HDV)15分 吉岡貞夫、⑦唄い継がれて八尾の魂(HDV)10分 西井学、⑧SLやまぐち号(HDV)14分 山口幸代  
 ◎後半の部：⑨九寨溝(HDV)15分 有村博、⑩コウノトリ翔ける空(HDV)8分 進藤男信、⑪晩秋余部(HDV)6分 江村一郎、⑫消えた海(HDV)7分 山本正夢、⑬近江八幡左義長まつり(HDV)15分 前田茂夫、⑭古寺幽玄(HDV)13分 黒田敏彦、⑮だんじり(HDV)7分 上田吉己、⑯鎮魂の島は今10分 合原一夫

今年の作品は平均して11分弱でしたが、良い作品が集まったと思っています。内容的にも観客の皆様によるこんで頂けるものと確信しております。どうぞ会員諸氏の観客動員ご協力お願いします。当日、台風など悪天候にならない様に祈るばかりですが、無事大成功を祈念しております。

### 8月例会のお知らせ

8月例会は第4土曜23日18時より、大阪市立難波市民学習センター(JR難波駅上OCATビル4階)にて開催。皆様のご来場をお待ちしています。作品の方もどうぞお持ち下さい。月1回の例会と二次会、楽しいひとときを送りましょう

## ■お詫びと訂正

前号のトップ見出しにOMCフェスティバル開催日を11月5日(日曜)とありましたが、10月5日(日曜日)の間違いでした。つつしんで訂正すると共にお詫び申し上げます。

## ■全国コンテストに江村一郎さんが受賞

◎東京アマチュア映像祭ビデオコンテスト入賞 怒濤・余部(HDV)8分江村氏

激戦のコンテストにご入賞おめでとうございます。9月23日(祭日)の江戸博ホールにて上映、表彰式があります。

■大阪アマチュア映像祭は11月23日(日曜日)に開催と決定。

■東大阪映像フェスティバル8月31日13時、於：布施駅前ヴェルノール布施5階夢広場

■全国コンテスト情報(会長へ要問合せ)

◎彩の国埼玉・全国映像コンテスト 12分以内9月30日〆切、出品料2,000円。

◎第20回丹波篠山ビデオ大賞8分以内、テーマあり、11月30日〆切。

## ■例会場もクールビズ?

寒い位だった例会場、このところ丁度良い室温になっていました。

## 7月例会レポート

このところ猛暑続きですが、涼しい例会場で盛夏の7月例会を楽しみました。

今月の司会は吉岡氏、書記、関氏、上映係、増池、江村、河合の3氏、受付件照明係は進藤、渡辺の各氏で進行しました。

◆出席者：有村、井上、上田、江村、河口、奥、上総、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、玉井、西井、錦、西村、華岡、前田、増池、森田、安居、山本、吉岡、渡辺の25氏。

◆上映作品(今月の講評は関世話役です)

### 1. 西梅田寸描(2)

増池 茂さん 4分30秒

この作品、既に何回か例会に登場した。そのたびに手を加えていると作者の説明だが、今回は音楽のアップテンポが際立ったぐらいで、内容がどう変わったか正直わからない。作者の作品は、構図よし。間合いよし。画郭を切り取る感性も優れていて、その絵づくりには好感がもてる。しかし構

成がいつもばらばらで、作者のねらいや意図するものがなかなか見えてこない。斬新な切口で“カッコいい”のも表現方法のひとつだが、それ以前にどうすれば納得させられるか、という観客を意識した制作姿勢が必要。心象作品ではないのだから。

### 2. AVCHD映像の取込みから編集まで 教材 筆者 14分

OMCニュース7月号の末尾に、USBコード一本でAVCHD映像をパソコンにキャプチャー・編集する方法を書いたが、図解なしの活字だけでは、ほとんどの人は理解できないだろうと考え、取り込みから編集までの実際を映像にしたもの。テープと交換で無料配布。お申し込みは関まで。

### 3. 左義長祭り考(続)

玉井 勻 さん 7分13秒

この作品は撮影に協力していただいた第十一区の関係者への寄贈が目的で制作されたもの。例会用として2部の分けられた。

前月に続き後半部、第十一区の「だし」が完成し出陣式を経て街に繰り出すところから。鳥居前、八幡境内のけんかは大きな見せ場だが、町内の若者たちが二ヵ月以上も丹精をこめて作りあげたみごとな装飾を一瞬で破壊。その夜は炎のなかで跡形もなく消滅する。彼らが精魂を使い果たしたあぐくに求めるのは“滅びの美学”か。十一区の総神役さんがいみじくも言った。「左義長はええ祭りです」と。

### 4. 中華街を歩く (ワイド)

吉岡貞夫さん 9分14秒

横浜の中華街。一般的には店頭には並ぶ色あざやかな食材とか店先で蒸気が上がる食べもの屋などで異国情緒を記録することが多いが、作者が選んだテーマは東西南北の入り口に建つ立派な門。彫刻と極彩色にいろどられ、それぞれが中国古来の風水思想にもとづいて建てられているようだ。その映像の完璧さは、仕事のついでに撮ったとはとても思えない。

### 5. 荒れる海・余部 (HDV)

江村一郎さん 6分30秒

雪まじりの強風がうなりを上げて鉄橋に吹きつけ、赤く点滅する警告灯はいま列車ダイヤが乱れていることを物語っている。資材を積んだトラックが着く。鉄橋の架け

換え工事は嵐の中でも止むことなく続いているのだ。白い牙をむく大波が覆い被さるように岸壁を襲う。少しは風が弱まったのか、しぶきでかすむ鉄橋を列車がライトを点けて徐行する。

荒れる日本海を強烈な印象で描いたイメージ映像。「怒涛・余部」を更にレベルアップしたみごとな作品。

#### 6. 夏のいろどり (HDV)

奥 宏さん 4分

枚方市山田池公園。花菖蒲、睡蓮などの水性植物や紫陽花が真っ盛り。休日なのか大勢の観光客が訪れていた。毎月の例会にほとんど欠かすことなく出品される熱心な作者だが、なぜか見る人の心に迫るものが足りない。この主題は花だが、周囲の情景を注意深く分析するのほひとつの方法かも。

#### 7. メタボ猿の言い分 (HDV)

安居利次さん 8分40秒

カロリー摂取の割に運動不足。人間だけでなく公園の猿もメタボ。そう言えば飼犬飼猫も太り過ぎが増えているような。堺の大浜公園は誰でも出入り自由だから餌を投げ与える人が多いらしい。マスコミがとりあげると、役所は餌やり禁止の札をだす。しかし何かを制限すると余計に逆らう輩が必ず出てくる困った世の中だ。元は密林の中で生活する猿は餌を求めて木を登ったり降りたり飛び移ったりが当たり前。人間の都合で小さな島に閉じこめられ、猿の言い分というよりむしろ悲鳴あげているような気がする。

#### 8. 毛越寺(もうつうじ) (HDV)

紙本 勝さん 5分30秒

平泉と言えば中尊寺を思い浮かべるが、同じ頃に建立された毛越寺の方が境内の面積、規模ともに大きいそうだ。ただ現在の本堂は平成になって再建したものと言う。

境内のほぼ半分を占める庭園には大泉が池と築山を配し、奥州藤原氏の優雅な生活ぶりが伺える。作者のみちのくシリーズもこれで5作目か。いまなお全国を回って撮り続けられる旺盛な意欲に、ただただ畏敬の念を抱かずにはいられない。

#### 9. 花のワルツ (HDV)

井上勝彦さん 9分32秒

例のスタビライザーからまた新たな実験に取り組んでおられる。ビデオカメラ2台を90度の角度に設置、その光軸が交差するところに(偏光膜を施した?)ミラーを立てる。すると同じ物を同じ場所から2台のカメラで撮っていることになる(光軸はすこしずらしてあるのかな)つまり接写物体を3D映像にするための装置。仕組みを言うのは簡単だが実際は難しい計算と予想外の出来事もあるのではないかな。

今回は3Dでなかったから9分半は長いと感じたが立体だと気分は違うはず。ぜひ成果を見せていただきたい。

#### 10. 五所川原立佞武多(改) (HDV)

河合源七郎さん 12分12秒

三年使うと言う高さ30mのねぶたを、いったいどこに保管するのかと真っ先に気になったが、どうやら専用の収納庫はあるらしい。それはともかく、この祭りは多くの若い女性が積極的に、しかも重要な役割を果たしている。その誰もがみな表情は明るく、嬉々として躍動感に満ちているのに驚いた。雪に閉ざされた長い冬から解放され、ねぶたで一斉に盛り上がる東北地方の人々の心情がこの作品に塗り込まれているような気がしてならない。たぶん作者の構成の巧さだろう。

#### 11. 御印祭 (HDV)

西井 学さん 5分50秒

金物の技術を奨励し民衆を繁栄に導いた加賀高岡の藩主前田利長公の遺徳を偲び、慶長年間から受け継がれてきたお祭り。石畳に格子窓が続く整った町並みの中で、子供からお年寄りまで棒術のような珍しい踊りで練り歩く。数人のご婦人たちのお尻が写って終り。絵のごとく尻切れとんぼ。これ、ひょっとして作者のユーモアか?。

#### 12. 思い出のあまるべ号 (HDV)

前田茂夫さん 10分12秒

DD51に牽かれたブルトレ。かつての特急出雲を彷彿とさせる編成に鉄道ファンが群がるのも無理はない。鉄橋の架け換え工事が始まっても相変わらずの人気。それにつけ込むJR西の商魂もたくましい。

一編成しかない臨時列車だから豊岡-浜坂間ならせいぜい一日2往復。しかも期間限定の土日運転でこれだけのカットを撮る

となれば週末のほとんどを費やしていたことになる。わずか数秒を撮るために遥かな山まで登ったのは驚きだった。作者の熱心さには頭の下がる思いがする。

13. 佐渡島あらかると (HDV)

進藤信男さん 7分44秒

ご夫婦で旅行されたときの記録。と言ってもホームビデオではない。かつては金採掘の労働力として罪人が送られていた流人の島。なかには高貴な身分の人も流されたと聞く。ゆえにここ独特の文化が生まれ、それが今に継承され、ここでしか見られない観光資源として蘇っている。作品に出てくるのは相川から北部沿岸にかけてだが、最北端の弾崎(はじきざき)灯台は映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台になったところ。そこに、はるか海の彼方を指差し肩を寄せあう灯台守り夫婦の銅像が建つ。銅像の前に初めて見せた新藤さんご夫婦の控えめな姿。そのとき映画のせりふ「おまえの苦労は僕がよく知っている。僕の苦労は君が知っているじゃないか」と。

14. 大阪城の謎 (HDV)

渡辺雄史さん 7分44秒

古いものにまつわる伝説、痕跡の謎を説き明かす話はなぜかわくわくするものがある。作品に出てきたのは六番櫓の抜け穴。人面石。化けもの屋敷。謎の石組み。謎の柱継ぎ。かえる石。龍虎石。等々。どれも面白そうだが、突き詰めていくと石が抜け落ちた穴だったり、ただの噂話しに過ぎなかったり、理詰めに基ずいたものだったり、結果は拍子抜けでオチになることが多い。ロマンとしてそっと置いておけばいいのだが、そうはいかないのが人間か。

15. いちご電車は大盛況 (HDV)

上田吉巳さん 6分

廃線になりかけた南海電鉄貴志川線を岡山の両備グループが和歌山電鉄を興して引継ぎ、終点の貴志が苺の産地だったことから「いちご電車」と名づけ、色も塗り替えて再開したらそれが大当たり。おまけに貴志の駅に住み着いた三毛猫の「たま」に帽子を着かせ駅長に仕立てたら、新聞やテレビが取材にきて一躍有名に。今年の連休は大盛況だったとか。ちょっとしたアイデアが沿線の住民も巻き込んで地域の活性に

つながる。これはそのお手本のようなもの。ニュース性抜群の作品。

16. 世界を巡る旅 (HDV)

有村 博さん 11分54秒

鬼怒川の東武ワールドスクウェアと言うテーマパーク。ここに世界文化遺産に登録された21ヶ国、102の遺蹟や建造物が1/25のミニチュアで作られている。どれも周辺の実景がなければ本物と見間違えるほど精巧なつくり。文化遺産のほかでも東京駅や国会議事堂。ニューヨークの自由の女神、同時多発テロで壊れる以前の世界貿易センタービルもある。作者は初めから種明かしの撮り方だったが、方法次第で、海外旅行の擬似体験ビデオができるかも。

17. メコン河下り (HDV)

山本正夢さん 10分30秒

中国との国境近くのラオス領内から2泊3日の川下り。ゆったり優雅な船旅かと思いきや、まるで暴走族のような猛スピードで突っ走る小舟。ミャンマーやタイの国境沿いを走って地名は判らないが無事上陸。2日目の映像はお坊さんの托鉢風景から。ボート乗り場には7人ですし詰めになるあの小舟。おまけに今度はヘルメットを被って暴走。(みな保険は掛けてあるのかな)途中で何度かエンジントラブルがあり、修理するあいだ客は川原でただ待つのみというから、そこらはのんびりと。その横をやや大型の客船が悠然と通過。どこかちぐはぐな、しかしこの作者しかできない旅行の記録。今回の編集は少し荒っぽかったが、また次回を楽しみに。

18. やっちょれ07 (HDV)

森田光春さん 8分40秒

OMCにはよさこい天皇がおられるのでそれを上回る作品はちょっと難しいが、とにかく挑戦してみるのには良いこと。これは本場高知のよさこい。ほとんどを追手筋で撮っている。追手筋は踊り手に接近できないためアップが少ないのをどのようにして迫力で見せるかだが、作者はP in Pの2画面・3画面でカバーしている。これもひとつの方法か。一定の集団を重点的に撮ったことも良かったと思う。

以上で例会を終え喫茶組と居酒屋組に別れてそれぞれ二次会を楽しみました。